

Organization

第5号 2025年11月12日 JRSE労働組合 発行責任者・山本真治

労働委員会に「あっせん申請」

私たちは今日まで、JR東海新幹線エンジニアリング株式会社大阪支社（以下会社と言う）に対して、二度にわたる団体交渉の申し入れを行ってきましたが、会社はこれを拒否してきました。

私たちは本日、もはや自主交渉による解決は困難だと判断して、大阪府労働委員会に「あっせんの申請」の手続きを行ないました。今日に至るまでの経過は以下のとおりです。

「結成通知書」と「労働条件及び職場諸要求についての団体交渉申し入れ」

受け取るも一切の連絡なし

2025年10月17日、JRSE労の山本執行委員長と笹田執行副委員長が大阪支社長に「労働組合結成通知書」と「労働条件及び職場諸要求についての団体交渉申し入れ」を手交しようとしたが、支社長がこれを拒否した為、やむを得ず配達証明にて郵送しました。すると10月20日、郵送物は受理されました。しかしそれ以降、会社にお知らせした組合側の窓口には一切の連絡もありませんでした。

団体交渉の早期開催と「労働協約の締結」と「年末手当に関する申し入れ」

「受け取り拒否」を続ける会社

従って組合側の窓口である小林書記長は11月4日、団体交渉の早期開催と「労働協約の締結」と「2025年度年末手当に関する申し入れ」を配達証明にて郵送しました。すると11月5日、郵送物が「受け取り拒否」されて返送されました。組合側窓口の小林書記長は念のために11月6日、配達証明で再送しましたが、これも11月7日に「受け取り拒否」されて返送されました。

会社は、10月20日にJRSE労働組合の「結成通知書」と「労働条件及び職場諸要求についての団体交渉の申し入れ」を受け取っていながら、以降の申し入れを受け取り拒否し、団体交渉の開催を拒否し続けているのです。

私たちは、共に働く仲間の労働条件の改善・安心して働く職場づくりのために、JRSE労働組合を結成しました！ 共に奮闘しましょう！